１．庄和地域が求める「庄和市民センター」のあるべき姿

《現状と課題》

- ４つの機能とは何なのか、何を行うところなのか、何ができるところなのか、住民に浸透していない。一部の自治会や特定の団体だけが知っている。住民の多くは知らない。
- PR 不足を感じる。
- 広報、周知のあり方に問題がある。単に利用者が増えればよいのか。
- 利用が一部の人に限られている。

⇩

《最終目標》

- 市民センターの「必要性」や「４つの機能」を理解する。
- SNS（LINE や X）の活用によって「市民センターでできること」、「市民センターでしていること」を共有できる。
- 本庁や庄和総合支所に行かなくても、様々な行政サービスが受けられる。
- 自主防災訓練を重ねることで、住民による円滑な避難所運営が可能になる。

⇩　⇧

《今後の方向性と検討課題》

- PR のため、誰でも活用できる（使いこなせる）最適なツールを検討する。
- 市民センターの情報を SNS で発信するための内容を検討する。
- 様々な行政サービスを円滑に受けられる窓口の体制を検討する。
- 多くの人が自然と関心を持ち、参加したくなる円滑な避難所運営訓練を検討する。

２．庄和地域住民が自ら進んで行動できる取り組み

《現状と課題》

・ 高齢者は地域や社会（学校等）とのつながり（結びつき）の大切さを認識している。
・ 地域内や自治会内でのコミュニケーション不足を感じる。
・ 文化の違いから北部、中部、南部の３地域に分かれている。
・ 防災訓練の強化充実が必要である。

《最終目標》

・ 地区体育祭や公民館まつり等のイベントを通じて住民同士の結束（コミュニティ形成）が強い地域になる。
・ 世代間交流が活発な地域になる。
・ 若い世代が集う地域になる。
・ 全世代が安心安全に暮らせる地域になる。
・ 地域一体となった防災体制がとれる地域になる。

《今後の方向性と検討課題》

・ 高齢者と若者の世代間交流により、若者の興味（関心）を捉えたイベントを検討する。
・ 学校の子どもと高齢者が交流し、昔遊び等を通じて伝統文化を継承するイベントを検討する。
・ 若い世代の交流の場を検討する。
・ 住民のつながり（結びつき）を深め、誰もが「住みたい」、「住んでよかった」と実感できる住環境を検討する。
・ 防災訓練を実戦的な備えへと強化充実するための具体的な訓練内容を検討する。

３．庄和地区地域づくり推進協議会 協議内容の概要

■ 令和７年度 第１回協議会　令和７年８月２０日（水）

◆ 報告事項
・春日部市地域づくり推進協議会条例の概要
・公民館＋地区センター（新たな機能）＝市民センターの概要
・令和６年度 庄和市民センター正風館の事業報告
・令和６年度 庄和市民センター正風館 地域づくり推進会議の協議結果

■ 令和７年度 第２回協議会　令和７年１２月３日（水）

◆ 協議事項
・庄和地区の活性化に向けた取り組み（意見交換）
・地域内の交流を活性化させる地域交流イベントの開催（意見交換）

■ 令和７年度 第３回協議会　令和８年１月３０日（金）

◆ 協議事項
・庄和地区地域づくりに関しての意見交換
　中間報告書（案）について

■ 令和７年度 第４回協議会　令和８年３月６日（金）（予定）

◆ 協議事項
・市長への協議結果中間報告　等

資料

令和７年度

庄和市民センターを拠点とした
地域住民主体の地域づくり

～ 協議結果 中間報告書（案）

令和８年３月６日（金）

庄和地区地域づくり推進協議会